

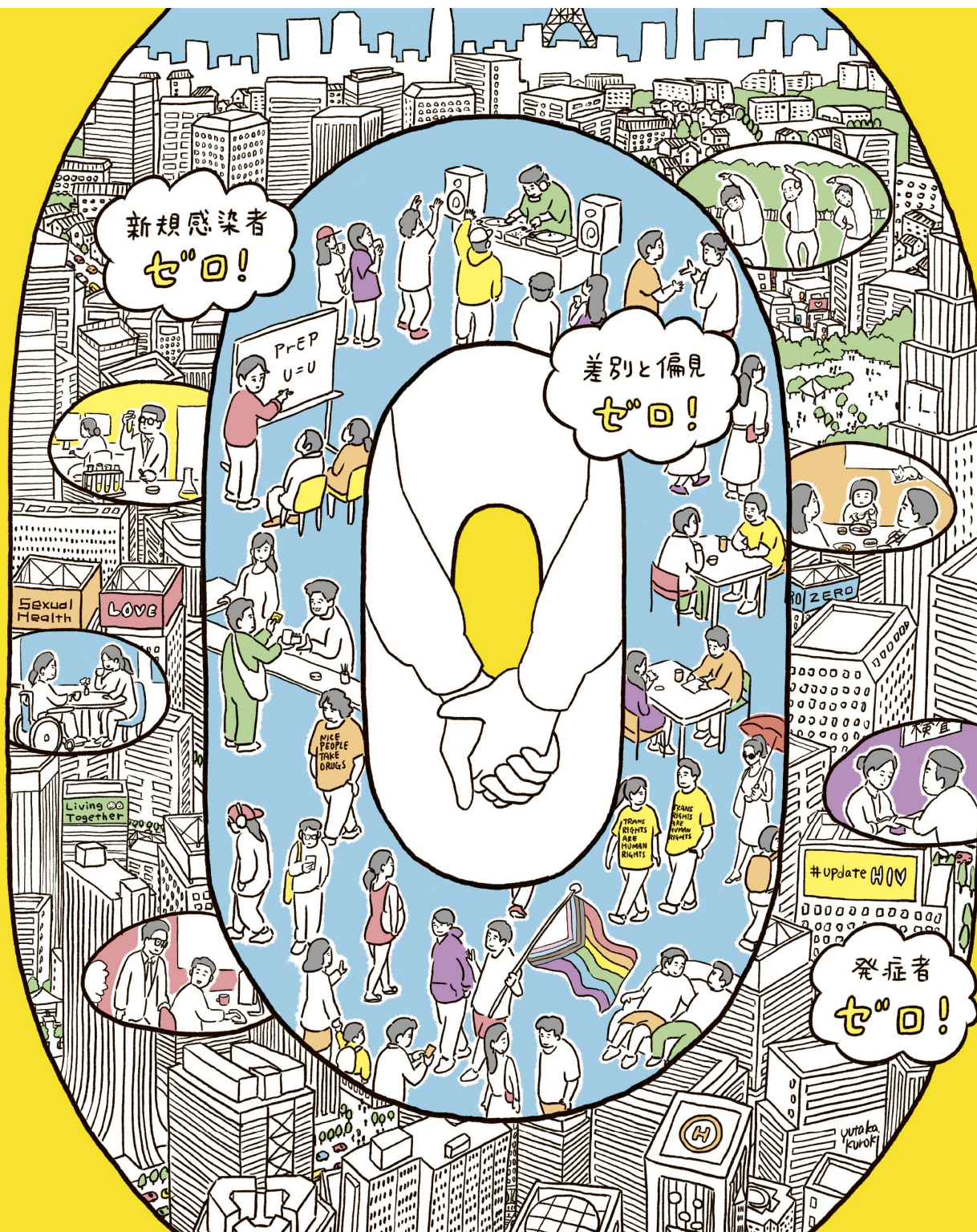
akta

community center

第1部

活動報告会 15:00~16:00

2024年度のaktaの各プログラム担当者が、
1年間の取り組みを報告します。



特定非営利活動法人akta

aktaはアジア最大といわれる、ゲイバーや商業施設が連なる新宿2丁目を拠点にCommunity Based Organizationとして活動します。

役職者

理事長	岩橋恒太
理事	江島啓介
理事	柴田恵
理事	木南拓也
監事	市川誠一

※2025年6月1日現在

VISION

私たちの活動は、全ての人がHIVとともに生きているという視点から、多様なセクシュアリティと性の健康の認知と理解をはかり、だれもが自分らしく暮らせる街づくりに寄与することを目的とします。

所在地

〒160-0022
東京都新宿区新宿二丁目
15番13号 第二中江ビル
302号室

電話番号

03-6380-0833（木曜～
日曜 16時～22時）

FAX番号

03-6380-0575

代表者 理事長

岩橋恒太

設立

2012年6月1日

コミュニティの中から

コミュニティに向けて

aktaの考える 日本のHIV/AIDSの課題

UPDATE
HIV



3つのゼロで日本を#UPDATE

【予防】

新規HIV感染**ゼロ**

HIV感染予防に対する啓発の推進と
PrEP・選択枝の拡充

【検査】

AIDS発症を**ゼロ**

HIV検査の実施体制と
選択枝の強化

【治療・人権】

差別・偏見**ゼロ**

U=UとLiving Togetherにより、
コミュニティと社会全体の
スティグマをなくす

AIDS流行終結に向けたロードマップ

2025年、2030年のターゲットに向け、日本国内で高速対応が必要

2023年

- エイズ予防指針の改定
- 郵送検査キットの使用拡充に関する検討

2024年

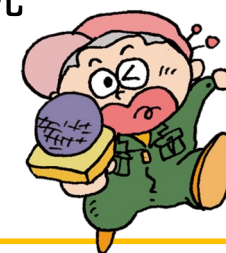
- 日本エイズ学会
学術集会 大会
長をakta岩橋が
担当(11/28-30・新宿)
-  日本エイズ学会
The Japanese Society for AIDS Research
- PrEPの薬事承認

2025年

- UNAIDS・WHO
95-95-95ターゲット(診断95%-治療開始95%-検出限界未満95%)の期限
- 予防指針の改正

2030年

- UNAIDS・WHO 世界でのAIDS流行終結の実現



日本が、世界で初めてのAIDS流行終結を迎える国となることを目指します

第38回

The 38th Annual Meeting
of the Japanese Society for AIDS Research

日本エイズ学会

学術集会・総会



2024
11/28(木)→30(土)

京王プラザホテル | 新宿 (会長) 岩橋恒太 | 特定非営利活動法人 akta 理事長
〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

学術事務局
特定非営利活動法人 akta
〒160-0022
東京都新宿区西新宿2-15-13
第二ビル202

運営事務局
株式会社サンパシフィック メディカルコンベンションユニット
〒112-0012 東京都文京区大塚2-5-10 信友ビル6F
TEL: 03-5940-7614 FAX: 03-3942-6396
E-mail: aids38@sunpacific.co.jp

演題登録期間
2024
5/15(金)→6/27(金)
<https://aids38.jp/>

内容

2024年11月28日(木)～30日(土)の3日間、新宿の京王プラザホテルにて「第38回 日本エイズ学会 学術集会・総会」が開催され、全国各地から**1,700人**を超える方々の参加があった。7年ぶりの社会系・CBOの代表として、岩橋が会長を務めた。



日本でのPrEP薬事承認までの経緯

2018年

エイズ学会より厚生労働省へ要望書提出

2021年

エイズ学会より厚生労働省へ再度要望書提出

2023年8月

市民団体より厚生労働省へ「HIV流行終結に向けた 要望書」提出

2023年11月

厚生労働省の適応外薬検討会議にて、PrEPとしての「ツルバダ」の医療上の必要性を協議
およびギリアド・サイエンシズ社への開発の意向確認



<報道関係各位>

2024年8月28日

ギリアド・サイエンシズ株式会社

ギリアド、HIV-1 感染症の曝露前予防として、ツルバダ[®]配合錠の
日本での公知申請に基づく承認事項の一部変更承認を取得

—日本初の経口 HIV 予防の選択肢は、HIV 流行終結に向けた重要な一歩—

ギリアド・サイエンシズ株式会社（以下「ギリアド」、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：ケネット・ブライスティング）は本日、HIV-1 感染症の曝露前予防（以下、PrEP；Pre-Exposure Prophylaxis）として、ツルバダ[®]配合錠（以下、「ツルバダ」）の日本での公知申請に基づく承認事項の一部変更承認を取得しました。

2024年8月28日、PrEPとしての
ツルバダが薬事承認を取得

薬事承認はされたものの… PrEPの残された課題



ツルバダの正規品の価格が高い

薬価が1錠2,442.4円で、1日1錠を全額自己負担で飲む場合、1か月で7～8万円以上かかる（2024年4月現在）



ジェネリック流通の規制

薬事承認により、それまで輸入されていたツルバダのジェネリック(後発品)の流通が止まってしまった



健康保険の適応外と決まった



地域差の問題

すでに一部で普及し始めている東京など都市部に比べ地域差が大きい



**PrEPを普及するためには多くの課題を解決する必要
エイズ予防指針の改訂作業が進む今が重要！**

成果と影響

PrEPの署名活動を実施中

厚生労働省・製薬企業への要望書を提出
メディアを通じた報道の促進
予防薬としての認可は歓迎
しかし「使いやすい選択肢」とは言いが
たい現状を周知



【署名活動実施団体・メンバー】

SAPプロジェクトメンバー：ふれいす東京 生島 嗣
/ akta 岩橋 恒太 / カラフル@はーと 翁長 祐太
/ ピルコン 染矢 明日香
/ #なんでないのプロジェクト 福田 和子

協力メンバー：プライドグループ 三条銀吾（竹内）
/ 金沢レインボープライド 松中 権



PrEPの国内環境改善に署名を！
一緒に現状を変えていきましょう。

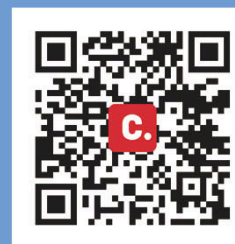


HIV感染を薬で予防する方法、
PrEPを日本でも当たり前の選択肢に！
SAPプロジェクト (Safe Access to PrEP)

私たちの要望は...

1. PrEPへの安心・安全なアクセスの実現
2. 経済的に厳しくても入手できる価格に
3. 医療者、支援者などに正しいPrEPの情報・知識を

ふれいす東京 生島嗣/akta 岩橋恒太/カラフル@はーと 翁長祐太
ピルコン 染矢明日香/＃なんでないのプロジェクト 福田和子



1万件を目指して署名活動進行中！

— 2024年度のポイント —

3つのゼロ（新規感染のゼロ・エイズ発症のゼロ・差別偏見のゼロ）
達成に向けて取り組んだプログラム。

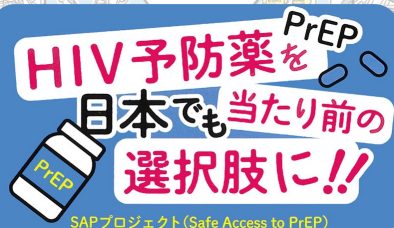


新規感染のゼロ

PrEP環境改善に向けた
署名活動の取り組み

以下要望の実現に向けた署名プロジェクトの実施！

- ・PrEPへの安心安全なアクセス
- ・誰もが入手できる価格
- ・正しい情報と知識の向上



エイズ発症のゼロ

ヤローページの発行

上野浅草のバーMAPと
一緒にHIV・性感染症
検査が受けられる検査
場を紹介！

[HIVcheck.jp](https://hivcheck.jp)



デジタルディスペンサーを
用いた郵送検査キットの販売
郵送検査キット販売の実績と、
地域展開への準備。

差別偏見のゼロ

Living Together
のど自慢ファイナル



HIVのリアリティを伝える長寿
イベントのファイナル！
そして新たなフェーズへ…！

日本エイズ学会の実施

「HIVに関わるすべてのコミュニティを
エンパワー、感染症による人々の分断を
終結」をテーマに、2024年11月に
akta主催の基、新宿で開催！



安定的なセンター利用と、
アウトリーチ活動に向けた
取り組みを行なった。



INDEX

1. community center akta

–HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

–HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究



INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

コミュニティセンターの活動状況

コミュニティセンター akta

運営スタッフ：常勤 3人、非常勤 8人

ボランティア 約140人

開館曜日：木曜、金曜、土曜、日曜

開館時間：15:00 – 21:00

総来場者数：**3,885人**（前年度比：104.16%）

初来場者数：**10,83人**（前年度比：87.98%）

相談件数：**96件**

（うち、セクシュアルヘルスに関する相談：45件）



Community Center akta

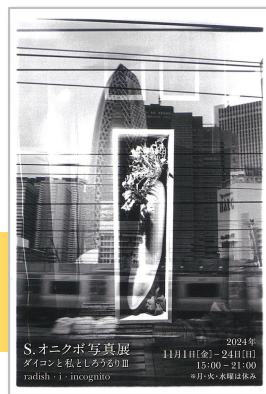
2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	356	343	307	559	245	226	297	458	274	221	307	292	3885
初来場者	87	108	63	207	48	54	88	174	62	57	75	60	1083
相談件数	5	3	1	6	3	6	8	16	14	5	11	18	96

コミュニティセンターの機能





「Jonathanドローイング展」
4月7日～28日（13日間）
来場者数：169名
対象年齢：全般



S.オニクボ写真展
「ダイコンと私としらうるり3」
11月1日～24日（15日間）
来場者数：195名
対象年齢：中高年層

「ジルとジョナ展」
10月4日～31日（16日間）
来場者数：148名
対象年齢：中高年層



「にちよけと！出張展示会 in akta」
6月29日～7月14日（10日間）
来場者数：253名／対象年齢：全般



「akta × ガラケー展」
5月2日～31日（18日間）
来場者数：141名
対象年齢：全般



「学会ポスター展」
12月1日～27日（15日間）
来場者数：114名
対象年齢：全般



展覧会 EXHIBITION

新規来場者を増やして、
情報にアクセスする機会を提供する



「THE ART OF OSO ORO展」
8月15日～25日（8日間）
来場者数：80名／対象年齢：中高年層



「劇団イヴァノヴィッチ5周年記念写真展」
2月7日～3月6日（16日間）
来場者数：134名／対象年齢：全般



「TRP2024 UPDATE HIV!展」
6月1日～30日（18日間）
来場者数：144名／対象年齢：全般



「前田ポケット展」
7月18日～7月28日（8日間）
来場者数：145名／対象年齢：全般

Addiction Meeting

定期 「No Rain No Rainbow(ノラノラ)」
薬物の問題に向き合うLGBTQ+の人たちが安心して繋がり、自分らしい生き方を
探せるコミュニティ

定期 「AA セクシャルマイノリティミーティング」
アルコール依存症で且つLGBTQ当事者の方
定のダブルクローズドミーティング

定期 「依存症と刑法改正を考える」
依存症、刑法改正、性的同意、撮影罪など
LGBTQ当事者にとっても大事なテーマで講義

Reading Club

定期 「新宿読書会」
ゲイ向けの課題本型読書会。
1冊の本を通して新しい繋がり場を提供。

定期 「アナキズム読書会」
ジェンダー平等についてコーヒーを飲み
ながらトークする読書会。

「Official Tokyo Lesbian Book Club」
国際レズビアン読書クラブ。

Work

定期 「アーカイブを作ろう！セックスミュージアム」
1970年代の雑誌を中心に性の書籍をリストアッ
プし目録を作成する。

定期 「大人のもくもくお絵描き会」
孤独になりがちな創作活動を、同じ趣味の者同
士が集まって作業する場を提供。

定期 「レインボーコラージュ」
雑誌やパンフ、写真やイラストを切り抜いて、
自由に自己表現する場。

Old age

定期 「コラルトの認知症サポーター養成講座」
知識はチカラ、理解はタカラ。
楽しみながら認知症について学ぶ講座。

定期 「LGBTQ版のエンディングノートを作ろう・
ワークショップ」
高齢期の様々な課題を性的マイノリティの
条件で乗り越えるためのポイント解説。

定期 「ゲイのための終活セミナー はじめの一步」
ゲイにとっての就活とは？初心者でもわかる
ような就活セミナー。



講座/MTG イベント

COURSE/MEETING/EVENT

Concept Party

「二丁目でユニ会」
変身願望を着衣で叶えるサークル。
スポユニ、制服、コスチューム等、
色んな格好での交流会。

English

定期 「Eikaiwa Rainbow Tokyo」
講師経験豊富なネイティブの先生による
英会話クラス。

定期 「Dungeons & Unicorns
ロールプレイング会」
テーブルトップロールプレイングの会。
RPG好きゲイフレンドリーな場を提供。

Sexuality

定期 「クィアひるまのいま」
LGBTQ当事者が昼間の時間帯に、のんびり
ゲームや手芸が楽しめる友達作り交流会。

定期 「バイセクシュアルとスペクトラムの会」
バイセクシュアル、パンセクシュアル、オム
ニセクシュアル当事者の交流の場。

「FTMゲイバイで話そう」
トランス、FtMコミュニティでも話しづらい男
性との恋愛やセックスについて話す会。

「集まるクィアの会」
クィア当事者やアライの人たちが集まり交流
したり、勉強やワークショップを行う会。

定期 「性のゆらぎ名刺を作成してみよう」
ワークショップを通じて、性の在り方や、
自分の性について整理するお手伝いをします。

「セクマイ×メンタルヘルスボードゲ」
LGBTQ+やアライの人で集まり、メンタルヘル
スに関連したボードゲームで遊ぶ。

「マジック：ザ・ギャザリングの秘密」
クィアなキャラクターが多数登場するカード
ゲーム。コミュニティの意義や表像の必要性
について語る。ゲーム体験もあり。

「台湾ホモナショナリズムトークショー」
書籍「台湾ホモナショナリズム」発刊を記念
して、台湾に滞在経験のある3名のゲストを
招いたトークショー。

「仏滅花嫁 上映会」
同性婚をテーマにした短編映画「仏滅花嫁〜
私たちはきらめく日々が永遠であるという誤
ちを犯し〜」の上映会。

スタッフ主導 イベント



「akta English Café」



プログラムの目的：

「英語」をキーワードに、英語でコミュニケーションをとりながら、aktaの利用を提案し、community centerへの新規来場者を誘致する。また孤立しやすい滞日外国人の交流のキッカケとする。

プログラムの内容：

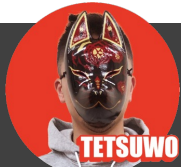
英語を話したい人、英会話のバディを見つけたい人向けの英会話カフェ。200円以上の募金を募り、お菓子とドリンクを提供しながら、ラフにコミュニケーションを取る。

結果：

2023年度 8回実施 合計55名来場
2024年度 11回実施 合計54名来場



「akta Game Saturday」



プログラムの目的：

「ゲーム」をキーワードに、若年層へaktaの利用を提案し、community centerへの新規来場者を誘致する。他のイベントとのバランスを図る。

プログラムの内容：

毎週土曜日に実施。Switchのパーティーゲームを75インチの大画面でプレイしたり、カードゲームやチャレンジゲームで遊びながら、来場者同士やスタッフ含めて交流の機会を作る。



※ 土曜日で他のイベントが入ってる場合は、そのイベントを優先

akta talk show

(東京都委託事業)

プログラムの目的：コミュニティへの情報共有、意見交換、普及啓発および専門家とのネットワーキング
対象なる人や施設：コミュニティの人たち、商業施設のオーナーやスタッフ、aktaボランティアスタッフ
HIVに関連した活動をしている人たち、LGBTQ+

LGBTQ+の健康に関わる最新研究の勉強会

LGBTQ+が抱える健康問題は、性感染症、メンタルヘルス、薬物依存、生活習慣病など相互に一問題は顕在化しにくいいため、当事者を巻き込んだ問題点の整理・共有と解決策の模索を行うべく、様々な専門家によるLGBTQ+の健康に関わる最新研究を学び、意見交換や交流を行う。



⑧2024年7月18日(木)
「LGBTQコミュニティとの協働研究 これまで、そしてこれから」
出演者：金子 典代（名古屋市立大学）
コメンテーター：吉野（日本酒バー傳店主/SUMMER BLAST代表）
参加者：
オフライン18名/オンライン21名



⑨2024年9月19日(木)
「HIV診療を通して考える LGBTQ+の健康」
出演者：村松 崇（東京医科大学病院）
コメンテーター：遠藤 洵之介（ペアクリニック院長）
参加者：
オフライン3名/オンライン25名



⑩2024年12月19日(木)
「コミュニティ参加型のエイズ対策-国際保健の視点-」
出演者：田沼 順子（国際医療福祉大学）
コメンテーター：北島 勉（杏林大学）
参加者：
オフライン12名/オンライン26名



⑪2025年1月16日(木)
「社会・臨床・基礎…え？基礎って何？」
出演者：原田 恵嘉（国立感染症研究所）
コメンテーター：本間 隆之（山梨県立大学）
参加者：
オフライン6名/オンライン18名



INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

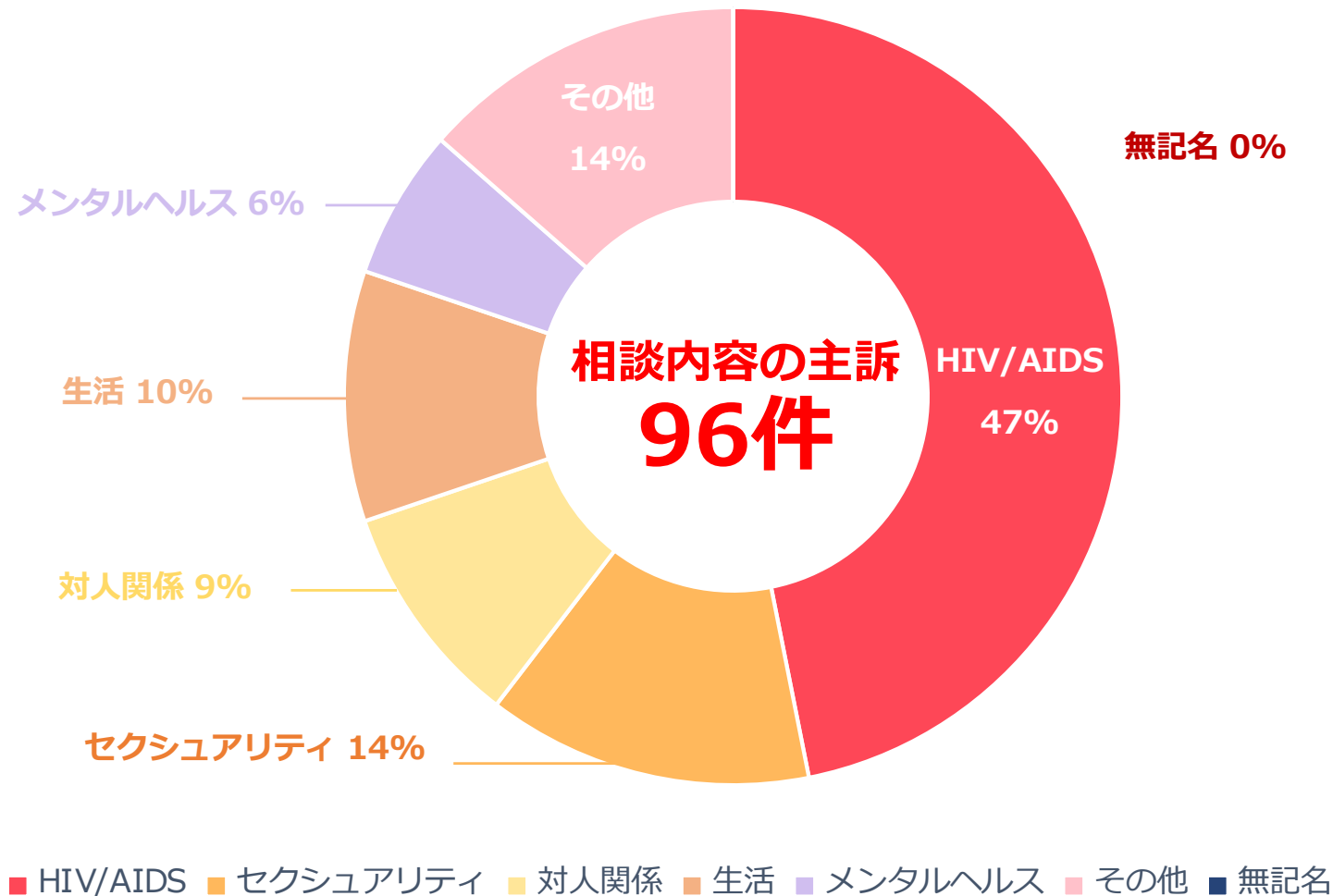
7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

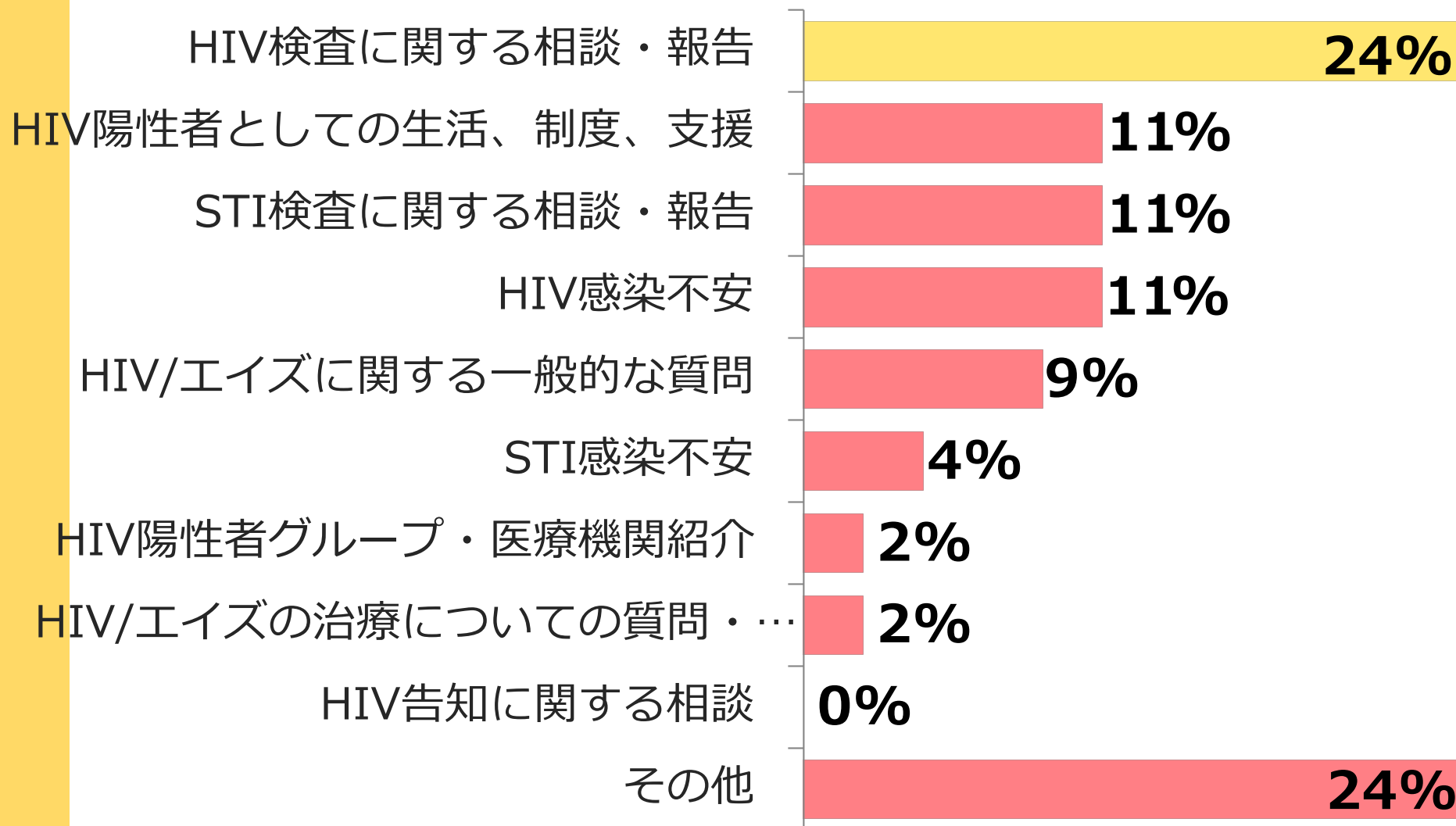
相談対応

— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

セクシュアリティに理解のあるスタッフが
オープンスペースで対応し、支援リソースへつなぐ。

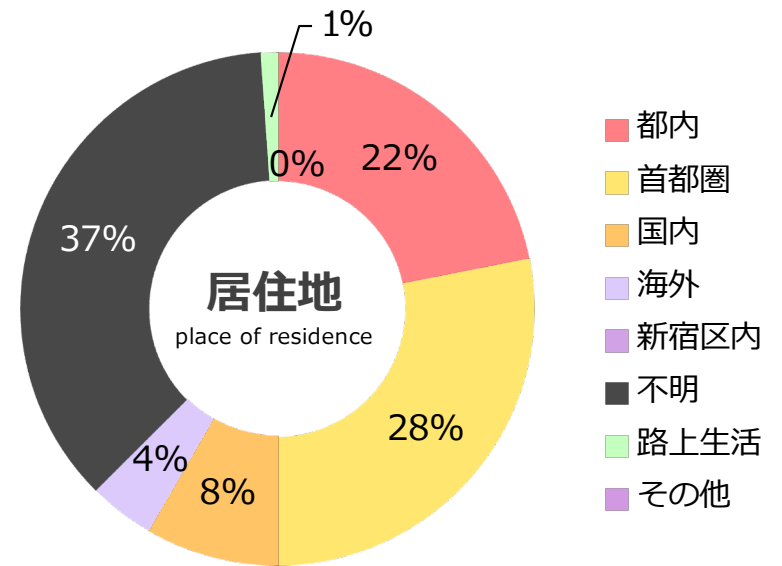
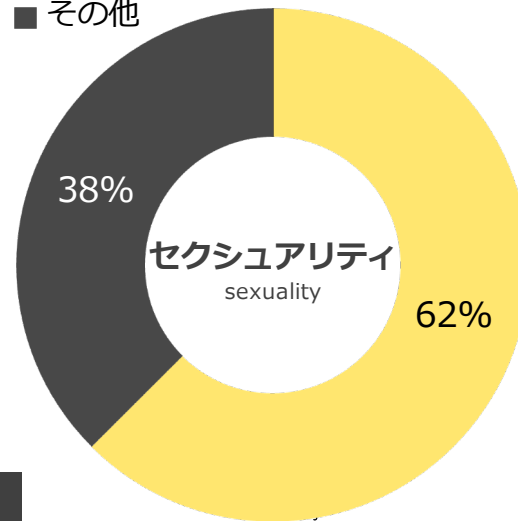


HIV/エイズに関する相談の主訴 (45件)

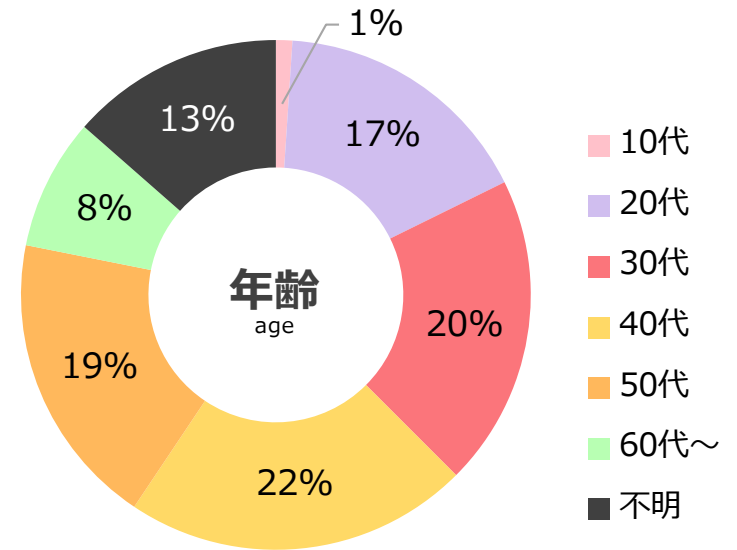
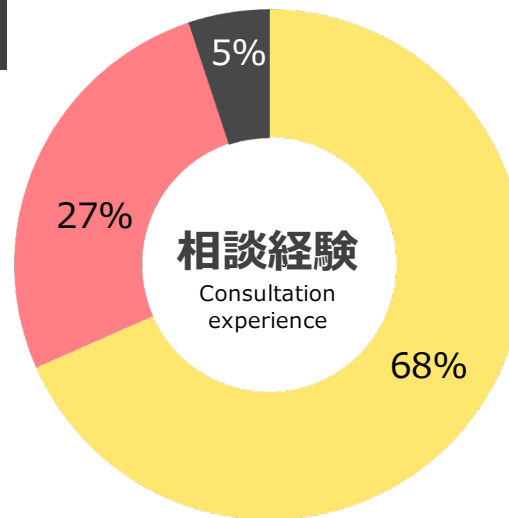


相談者の属性

■ ゲイ・バイセクシュアル/MSM
■ その他



相談件数96件
(陽性割合7.29%)



■ 初 ■ リピーター ■ 不明

スタッフ研修会

Staff Training Session

スタッフ間の情報共有と意見交換を行い、
チームで対応の質の向上を図った。
また、相談対応及び、センター運営における
知識、技術の向上を目的に、専門家を招き、
各分野の基礎的な情報について学び、
今後の対応や運営について検討のキッカケとした。

1 「デジタルメディアを用いた施策整理 2」
実施日：2024年7月28日
講師：柴田 恵 氏（NPOakta理事／
Google）
実施内容：デジタルマーケティングの考え方
について学び、今後の施策整理の参考とした。

2 「HIV感染症の基礎」
実施日：2024年10月20日
講師：塚田 訓久 氏（埼玉医科大学 医学部
総合医療センター 感染症科・感染制御科）
実施内容：改めてHIV感染症の基礎及び臨床
について学び、HIV関連する相談対応の参考
とした。

3 「コンビネーションプリベンション」
実施日：2024年12月8日
講師：矢島 嵩 氏（日本HIV陽性者ネットワ
ークジャンププラス / HIVマップ）
実施内容：予防の分野における複合的予防策
（Combination Prevention）について学び、
今後の予防啓発活動の参考とした。



INDEX

1. community center akta
–HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信
2. 相談対応
3. 予防行動促進プログラム
4. Living Together
–HIVのリアリティを伝えるプログラム
5. アウトリーチプログラム
6. ウェブサイトを用いた啓発
7. HIV検査普及プログラム
8. 調査・研究

HAVE A NICE SEX ファクトシート

目的

情報が錯綜する中で、正しく情報を入手し、自分にあったものを選択することが難しい時代に、ヘルスリテラシー向上を応援するツールとして、日本におけるHIV/AIDSの状況や、HIVだけではない性感染症の情報、HIVの新常識について取り扱う。また、医療機関や検査場等と連携をとり、医療現場での情報周知にも役立てる内容とする。

内容

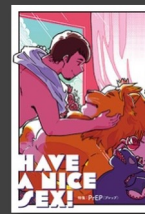
今知って欲しいこととして、これまで様々なテーマについて取り扱ってきた。今年度は「HIV予防のアップデート コンビネーション予防」をテーマに資料を作成した。またWEBサイト化をし、オンライン上でも閲覧可能とした。



発行部数：5,000部
配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/168店舗、
その他関係機関への発送
(特に都内クリニック等、医療機関へ発送)
※検査所や医療機関で配送希望が多数寄せられた。



HIV/梅毒
動向データ



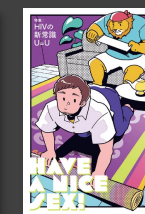
PrEP



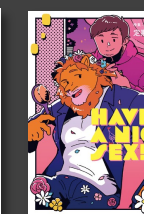
B型肝炎



梅毒の検査
と治療



HIVの
定期検査



HIVの新常識
U=U



INDEX

1. community center akta
-HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信
2. 相談対応
3. 予防行動促進プログラム
4. Living Together
-HIVのリアリティを伝えるプログラム
5. アウトリーチプログラム
6. ウェブサイトを用いた啓発
7. HIV検査普及プログラム
8. 調査・研究

**WE'RE
ALREADY
LIVING
TOGETHER.**

HIVを持っている人も、
そうじゃない人も、
まだ分からない人も。
わたしたちはすでに、
いっしょに生きている。

**WE'RE ALREADY
LIVING TOGETHER.**



Living Together のど自慢

目的

- ・ HIVを自分の事として、身近に捉える機会を提供する
- ・ 陽性者の声を可視化して、スティグマを低減し、誰もが暮らしやすい社会へ

内容

HIV陽性者・周囲の人の手記の朗読+カラオケ

2024年6月9日(日) 第65回目実施@九州男

2024年9月1日(日) 第66回目実施@九州男

2024年11月29日(金) 第67回目実施@日本エイズ学会

2025年2月24日(月祝) 第68回目実施@九州男

結果

イベントへの参加経験が、HIVの会話経験や検査行動につながっていることがわかった。

※ 第68回をもって、Living Together のど自慢はファイナルを迎えた。

2006年～HIVのリアリティを伝えるイベントとして開始され、68回のイベントまでに述べ**3,500人以上の方**に参加いただきました。新たなフェーズに突入し、今後のプログラムについて再検討を行う必要がある。



第38回 日本エイズ学会学術集会・総会の中でも開催された。



過去最多の参加者を迎え、感動と熱気に包まれて幕を閉じた。

TOKYO RAINBOW PRIDE

2024年4月19日(金)～21日(日)



「#updateHIV」フロート

NGOが協働して出展。
HIV陽性のメンバーを先頭に250人が一緒に歩きました。



参加団体

akta/ふれいす東京/JaNP+/エイズ予防財団

協力

ViiVヘルスケア/ギリアド・サイエンシズ
MSDほか





INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

目的

定期的に情報を届けてaktaの周知と普及啓発を行う



496ヶ所へ届ける、496ヶ所からの情報発信

Adult DELIVERY アダルトデリバリー

プログラムの目的

性行為が活発に行われるスポットにおいて、セーフターセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて情報をアップデートする機会を提供する。また情報を届けると共に、商業施設とのネットワーキングを構築する。

対象となる人

都内ハッテン場（性風俗店）の顧客と従業員。

実施内容

月に1回、都内ハッテン場（性風俗店）に、性に関する様々なアイデアを配達するアウトリーチ活動。



資材発送

プログラムの目的

直接のアウトリーチができていないゲイバーやハッテン場等の商業施設を含む、全国のMSMを取り巻く関係機関に対し、資材の送付を行う。

実施内容

月に1回、下記関係機関へ資材の発送を行う。
※ 2024年物流問題により配送代行業者を利用。

商業施設 107件 行政機関 16件 医療機関 43件
保健所 53件 教育機関 13件 研究機関 7件
HIV・セクシュアリティ関連CBO 30件
その他（企業・個人等） 59件



デリバリーボーイズ

DELIVERY HEALTH BOY'S



目的

セーファーセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を提供する。
また情報を届けると共に、街や店内の雰囲気や反応をキャッチしてくる。

内容

毎週金曜日に、お揃いのユニフォームを着て、新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブに、コンドームや性の健康に関する様々なアイデアを配達するアウトリーチ活動。

結果

実施日時：毎週金曜日(第三金曜日を除く)の20時～22時

登録者数：140名(内5～10名前後/回のスタッフが参加)

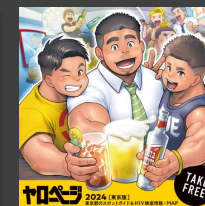
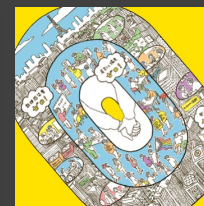
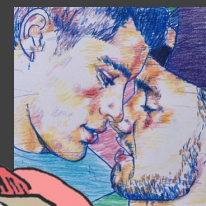
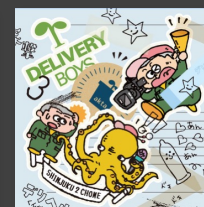
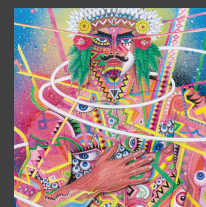
配布店舗数：168店舗

コンドーム配布数：年間**38,449個** 1回約800～1500個

稼働日数：39日



今年度作成した、 コンドームパッケージ





上野・浅草 アウトリーチ

UENO・ASAKUSA AREA OUTREACH

目的

セーファーセックスを身近に感じてもらうと共に、
HIV/AIDSについて話す機会を提供する。
また情報を届けると共に、東東京地域の現状や課題を把握する。



内容

月に1回、上野・浅草を中心としたゲイバーに、コンドームや性の健康に関するアイデアを
配達するアウトリーチ活動。

結果

実施日時：月に1回(基本木曜日)の16時～22時
配布スタッフ：2名(akta常勤スタッフ+臨時スタッフ)
配布店舗数：上野35店舗／浅草9店舗
コンドーム配布数：年間**2,500個** 1回約250個弱
稼働日数：10日※9月はヤローページの情報収集に変更



課題

2007年～2010年に実施した上野・浅草アウトリーチを、2021年に再開準備を進め、2022年より毎月対面でのアウトリーチが再開された。以降2024年度まで継続を行ったが、担当スタッフの卒業により、再度凍結。2025年度からは発送に切り替えて実施を継続中。東東京地域の現状把握が難しくなった。



2024年1月号にてこれまで掲載してきた
コンドーム設置協力店舗のインタビューが
終了となり、2024年4月よりaktaで実施
されるイベントや展覧会の詳細を紹介する
コーナーへとリニューアルして継続。



2023年度までのデザイン

2024年度以降のデザイン

akta monthly schedule

community center aktaの周知と、aktaで開催予定の様々なイベントや展覧会を紹介し、aktaへの来場のキッカケづくりや、利用方法の提案として発信するフリーペーパー。



発行部数

2024年4月号～2025年3月号まで
各号5000部 発行、配布

配布先

新宿二丁目のBAR&クラブ/168店舗
その他関係機関への発送

デリヘルくんが聞く！突撃インタビュー集

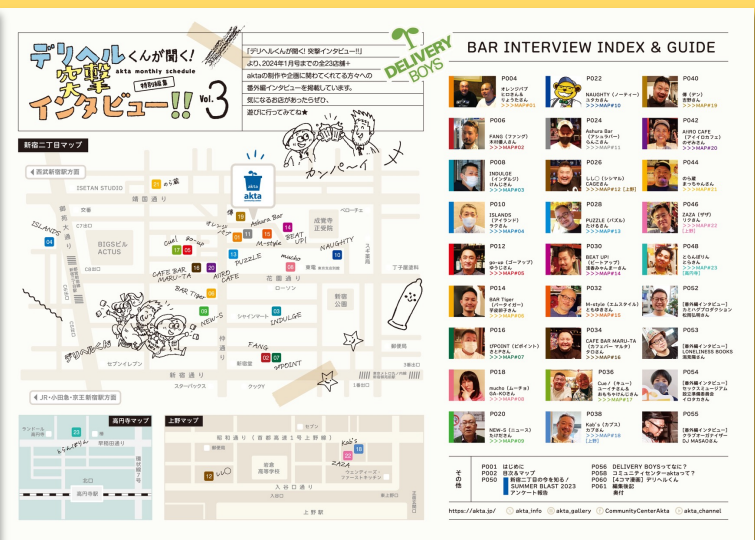
community center aktaの周知と、コンドーム設置協力店舗へのインタビュー記事を通し、活動をはじめ、HIVや性感染症へのイメージや二丁目のコミュニティ感覚について考えるキッカケづくりとして発信するタウンマップ冊子。

内容

Community center aktaが毎月発行している「akta monthly schedule」で、2024年1月まで掲載を行っていた「デリヘルくんが聞く！突撃インタビュー！！」より、2021年1月号～2024年1月号までのインタビュー内容を掲載。またインタビューコーナーが終了に伴い、インタビュー集も完結編として発行。



第三弾では、新宿二丁目だけでなく、上野や浅草、高円寺など地域を超えたインタビューや、バーだけでなくakta関係者へのインタビューも掲載。第一弾～第三弾で合計69本のインタビューを掲載した。



結果

発行部数
配布先

2000部 発行、配布
新宿二丁目のBAR&クラブ/168店舗
その他関係機関への発送



デザイナーの村上ひろしさんをゲストにYouTubeチャンネルにて紹介動画を公開！



啓発普及の基点（連携のハブ）





INDEX

1. community center akta
–HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信
2. 相談対応
3. 予防行動促進プログラム
4. Living Together
–HIVのリアリティを伝えるプログラム
5. アウトリーチプログラム
6. ウェブサイトを用いた啓発
7. HIV検査普及プログラム
8. 調査・研究

akta YouTube CHANNEL

ICTを活かした啓発普及を強化して、コミュニティセンターを利用しない層や、コミュニティセンターのない地域に向けて発信する。性行動の活発な特に1980～2000年代出生世代のMSMに情報を届けるためには、オンラインと、対面などリアルの方の両方のアプローチが求められる。そのため、ネットでの動画を利用した啓発のさらなる強化を試行する。



akta大学

大学形式でトピックについてポイント解説を行い、HIV/エイズ・性感染症についての最新情報を学ぶコーナー。



akta information

aktaが作成した啓発資材やプログラム等について紹介するコーナー。



コラボ企画

様々なゲストを招いたり、いつものスタジオを飛び出してロケを行うスペシャルなコーナー。

aktaの時間

日常生活の中で、性に関して思う正解のないあれこれを、あれこれトークして、この先の日々を楽しく過ごしていけるよう模索するラジオコーナー型の番組



結果

総視聴回数：72,006回
(同期比：132%)
チャンネル登録者数：1,601人
(前年度より319人増)

akta.jp

WEB上でのaktaの入り口

目的

ゲイ商業施設にアクセスしない層や、ネット利用に止まる若年層をセンターへ集客するため、ホームページを運営して活動の見える化と啓発・周知を行う。

内容

community center aktaと、そのプログラムを紹介するサイト。

閲覧数は **108,973件** トップページ、梅毒、have a nice sex、コミュニティセンター、NPOの順。

2024.04.01~
2025.03.31

アクティブユーザー ②
6.4万

新規ユーザー数 ②
6.3万

来訪者数 : **63,784件**
(うち、新規来訪者数 **63,148件**)



HIVmap POST
Chitosehita Otagami ya Chirashi

あなたのポストに届くお手紙やチラシの
ような感覚で、いままよなHIVに関連
する情報を読みやすい形で紹介してい
くコーナーです。

ここにポストとつながるさまざまなサービスが
あふれています。無料「匿名相談」の相談
サービス「ポスト」にもつながります。
また、
「性被害（セクハラ）」と「アソビ」
「男の（女）の性被害を相談する」の2つ、
「セクハラ」について学びます。
各サービスはそれぞれ別々のページにアクセスするだけで
簡単に利用できます。

**新コンテンツ
はじまる!**

主にMSMに向けた相談支援として位置づけたサイトを運営。総合情報サイトとして、支援情報、検査情報、基礎知識、統計情報などについて網羅する。

各種コンテンツの情報を最新のものにアップデートし、HIV予防の多様な方法（PrEP、U=Uなど）に合わせた啓発やメッセージ発信を行う。2021年度に始めた、情報をコンパクトにまとめた「POST」は月2回更新。さらに、あんしんHIV検査サーチを改定、自治体との研修会実績を可視化。

あんしんHIV検査
サーチ
首都圏MSM向け検査
情報提供

HIVmap POST

HIVや性感染症など
MSMの性の健康譲歩
をブログ形式で紹介

2024.10.31

【徹底解説】PrEP：ツルバダが薬事承認されて、何がどう変わるのか？

2024.10.19
HIVの即日検査が一時中止？再開？～HIV検査キットの生産遅延による影響について～

2024.09.18

ゲイ・バイ男性にとってのHIV/エイズのいま
 【後編】～U=UやPrEPの登場、コロナ禍で
 HIV検査数が激減した影響は？～

2024.09.18

ゲイ・バイ男性にとってのHIV/エイズのいま
【前編】～エイズ発生動向（2023年）から
日本の現状を読み解く～

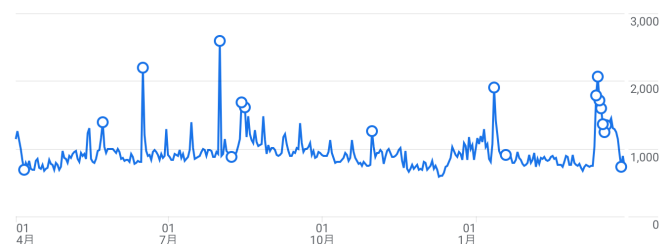
2024.08.27

エムボックス（旧称：サル痘）WHOによる
2024年8月の緊急事態宣言、意味するところ
は？

2024.08.04
TRP “#UpdateHIVフロート”メイキング動画
GOGO、ドラッグクイーン、DJ、設営組からの
の裏話も

アクティブユーザー ② 新規ユーザー数 ②
32万 32万

来訪者数：323,057件
(うち、新規来訪者数 321,693件)
閲覧数：549,923件
POSTの記事が上位5位を占める



39



INDEX

1. community center akta
—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信
2. 相談対応
3. 予防行動促進プログラム
4. Living Together
—HIVのリアリティを伝えるプログラム
5. アウトリーチプログラム
6. ウェブサイトを用いた啓発
7. HIV検査普及プログラム
8. 調査・研究



内容

MSMが安心して検査を受けることができる検査環境を整備した上で、東京都内の検査施設等の検査情報とゲイタウンの商業施設情報を同時に案内する資材を開発することで幅広い層に周知し、HIV感染予防およびエイズ発症予防を喚起し自主的な検査行動を促進する。またコミュニティとの連携を強化し、二丁目のコミュニティを応援する。



2011年～2013年に発行していた首都圏版以降、東京の複数の地域を掲載するのは12年ぶりの発行となり、計226店舗の情報を掲載。更にコロナ禍以降「保健所」の紹介が復活となった。他、PrEPについて専門家(谷口先生)にインタビュー&ユーザーの声を掲載。表紙と関東ページでは、ゲイに人気のイラストレーター5名によるカバーイラストを掲載し、話題性を狙う。

結果

発行部数：8,000部

配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/168店舗 その他関係機関への発送



検査環境の整備と検査行動の促進

保健師（HIV検査担当者）研修会

1都3県の研修をすべて対面で、ふれいす東京等の協力を得ながら実施。
昨年度に引き続き、akta若手スタッフの研修参加を広げた。

東京都

東京都保健医療局
感染症対策部
防疫課エイズ対策担当

2024年10月11日実施
17名参加

神奈川県

神奈川県健康医療局
保健医療部健康危機・
感染対策課

2024年12月20日実施
15名参加

千葉県

千葉県健康福祉部
疾病対策課
感染症対策班

2024年11月8日実施
15名参加

埼玉県

埼玉県保健医療部
感染症対策課・
感染症担当

2024年9月30日実施
18名参加

主な研修内容

講義：各自治体の現状報告／性の多様性／地域での効果的な啓発方法について

ワークショップ①：reading work／保健所の情報交換／課題の確認

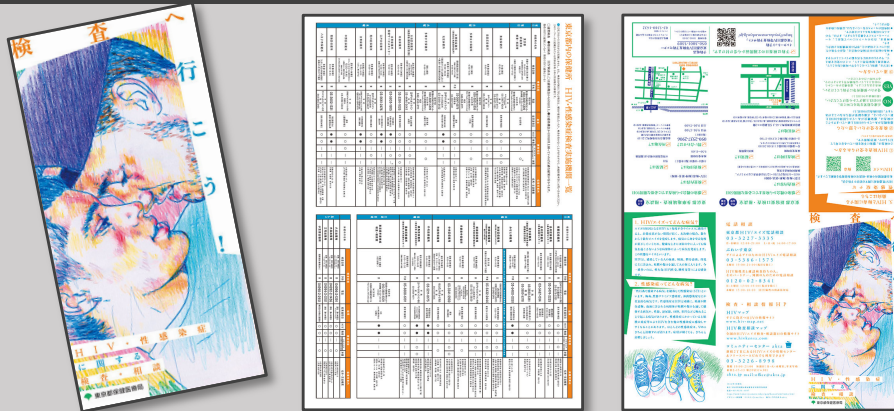
ワークショップ②：模擬対応／セクシュアリティに配慮した相談の実際／検査相談に利用できる資材やNPOの活動紹介

MSMへの理解を深め、MSMが安心して検査を受けられる環境整備

行政機関と連携した検査広報

東京都

各保健所の個別情報→ウェブサイト紹介
都の検査施設のみ紹介、4000部作成・配布



新宿区保健所

ゲイのためのエイズ・性感染症検査

MSM向け検査ポスター

MSM向け検査バナー



千葉県

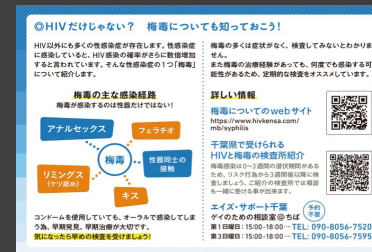
MSM向け休日検査→ウェブバナー広報
受検者へ配布する情報カード&コンドームを
3000部作成・配布

WEBバナー



情報カード

コンドーム



コミュニティ主導での

郵送検査キット配布の課題

受療確認

郵送検査のスクリーニング陽性の結果での医療機関側の受け容れが施設ごとに異なる。
また、そもそもスクリーニング陽性となった者のその後の把握が難しい。

制 度

郵送検査キットは医療機器(レベル3)にあたるため、**薬機法の対象**となり、**管理者として医療資格者(医師・歯科医師・薬剤師)等が必要**。研究枠組みではなく社会実装の場合に、管理者のいない場所での配布できない。

運 営

CBOの活動にとって、現状のモデルでは、ヒト・予算・時間などのリソースが大きくなるため、持続可能性に課題がある。

あんしんな
検査を、
もっと身近に。

for
EVERYONE

※2024年12月中旬まで

コミュニティセンターaktaで
いつでも**500**円で
HIV郵送検査キットをゲット！



HIVcheck.jp



2024年 HIVcheck.jp 3.0

(ディスペンサーの試行)

内容

薬局の空間の中でディスペンサーを用いて検査キットの配布モデルを試行。行動調査および決済はオンライン上で完了したうえで、身近な薬局・ドラッグストアで受け取り

直面した課題

自治体の薬事衛生課の承認で止まり、薬局でのPoCには時間が必要となった。

現在の準備状況

渋谷区と調整してTokyo Rainbow Prideで、新宿区と調整してaktaにて、2024年度は有料での販売実績をつんだ(合計 210キット)。2025年度に新宿区のドラッグストアおよび地方で試行できるように、現在調整・計画中。



「HIVcheck.jp」は、特定非営利活動法人aktaが
「ギリアドHIV検査推進寄付プログラム」の助成を受け行う事業



INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

2024年度 aktaが参画した主な研究

研究分担

- エムポックスに関するハイリスク層への効果的な啓発及び診療・感染管理指針の改訂のための研究(研究代表者 中村ふくみ)
- エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究(研究代表者 四本 美保子)、コミュニティにおけるエイズ予防指針の反映の評価・啓発に関する研究

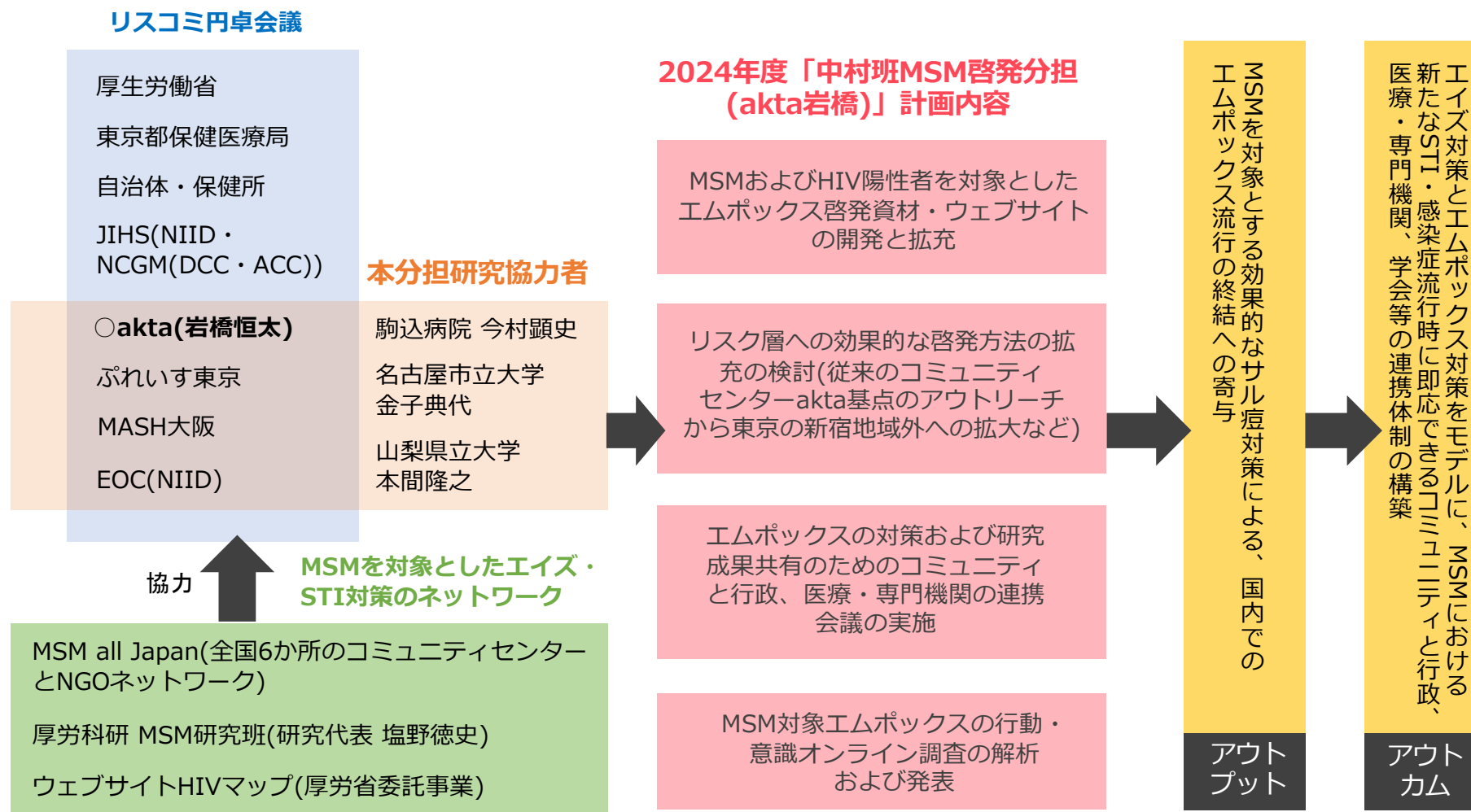
研究協力

- コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発方法に関する研究(研究代表者 塩野 徳史)
- HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究(研究代表者 今村 顕史)
- 国際的な基準によるエイズ対策の評価と改善のための研究(研究代表者 田沼 順子)

エムボックスに関するハイリスク層への効果的な啓発及び 診療・感染管理指針の改訂のための研究 「MSMコミュニティに対する普及啓発に関する研究」



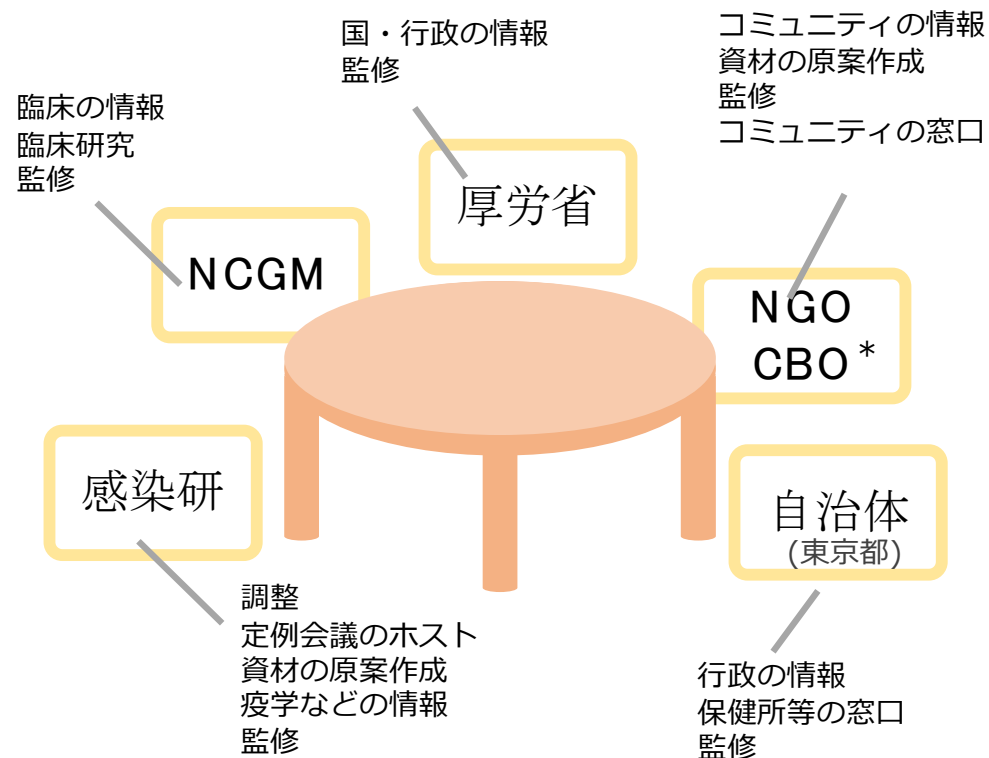
エムボックスに関するMSMコミュニティに対する普及啓発のロジックモデル



『感染症コミュニケーション円卓会議』 の組織



属人的な協力関係ではなく、組織同士が連携する任意団体



主な活動と目的

- ・ 感染症のリスクコミュニケーション
(エムボックスに限らない)
- ・ 平時からの意見／情報交換の場の運用

会議の機能 (半月～1か月に1回)

- ・ 情報と意見の共有
- ・ 方針の決定
- ・ それぞれの視点で監修

※ 具体的な調整や作成作業などは、
サブグループに分かれて実施

* Community Based Organization
akta、ぷれいす東京、MASH大阪の3団体



2023年7月・2024年7月

新宿二丁目でのクラブイベントに集まるMSM対象

コンビネーション予防 実態把握のための行動科学・定期実施調査

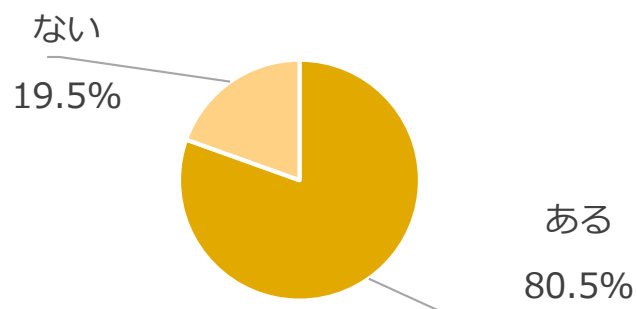
- 2024年7月13日に新宿二丁目で行われたクラブイベントで受付横にて、aktaがブースを出展、16時～23時までのイベント参加者全員にリクルート。
- 参加同意者の自身のスマートフォンで回答してもらうアンケートで、回答時間は約5分間。
- 回答が完了した方には、イベント会場で使用できるチケット(800円分)を謝礼としてお渡しした。
- 2023年よりperiodic調査として、毎年同じ調査方法で実施開始。

厚生労働省科学研究費補助金「コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発方法に関する研究」の研究の一環として行われ、名古屋市立大学看護学部の倫理審査を得ている。

過去1年間に受検経験ありの者が増え、保健所・新宿東口についてクリニックでの検査が増えている

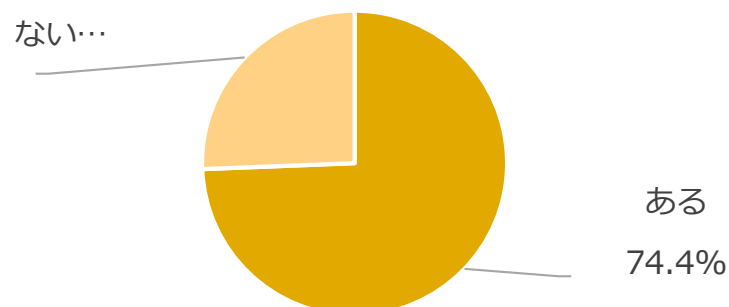
Q20 これまでのHIV検査受検経験

(n=548)



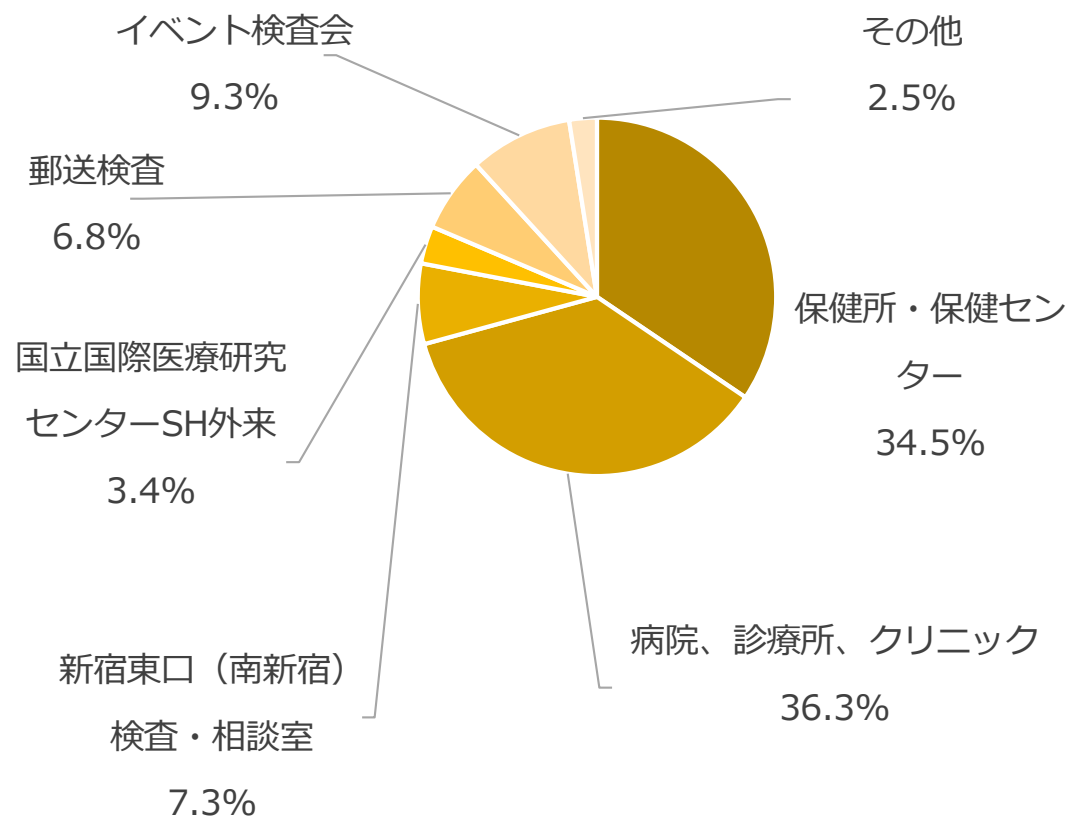
Q21 過去1年間のHIV検査受検経験

(受検経験者のみ対象)(n=441)



Q22 直近のHIV検査の受検場所・種類

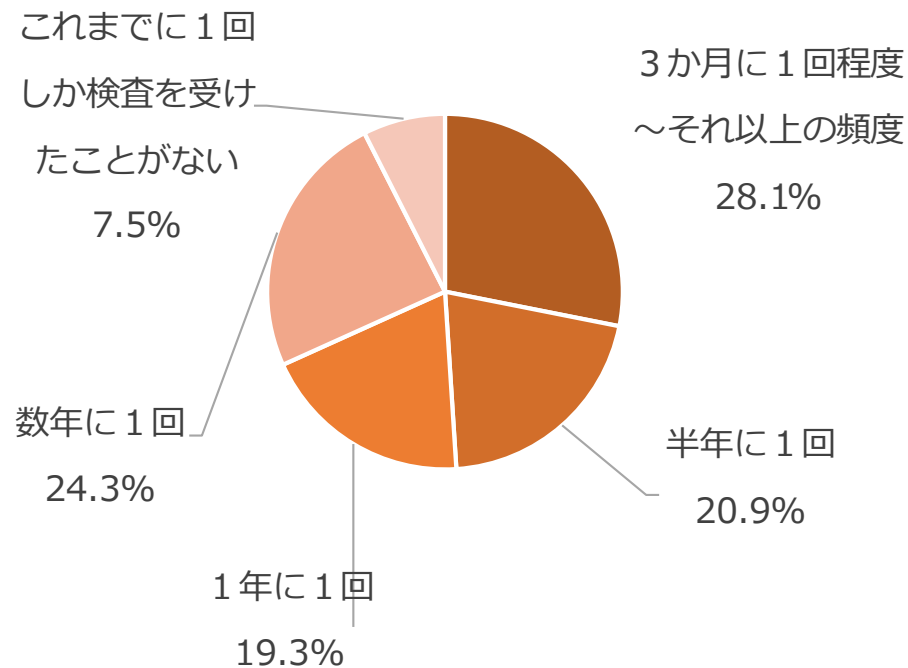
(受検経験者のみ対象)(n=441)



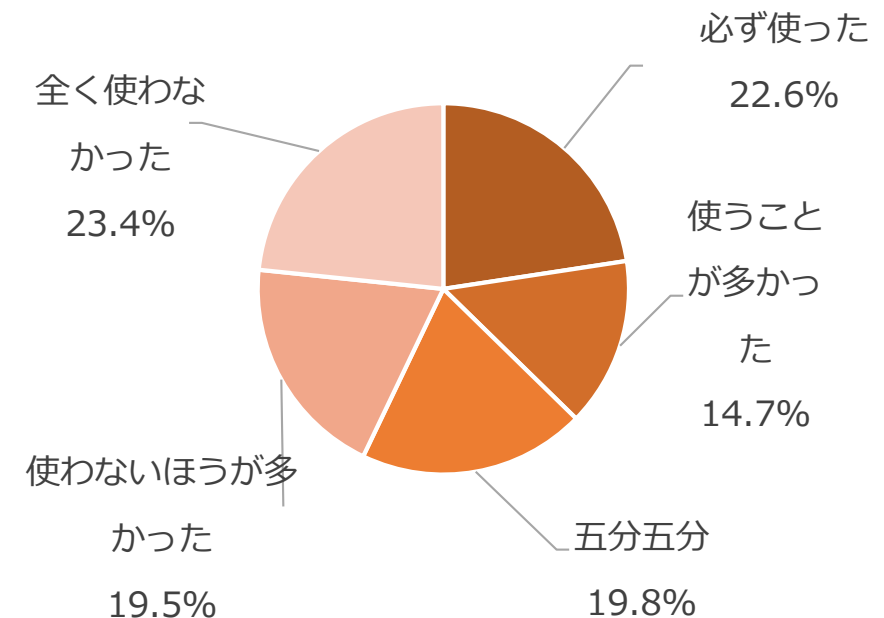
「コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発方法に関する研究」

1年に1回以上定期的に受検するものが68%を占める。
アナルセックス時のコンドーム常用割合は22.6%と減少。

Q23 HIV検査の受検頻度
(受検経験者のみ対象)(n=441)



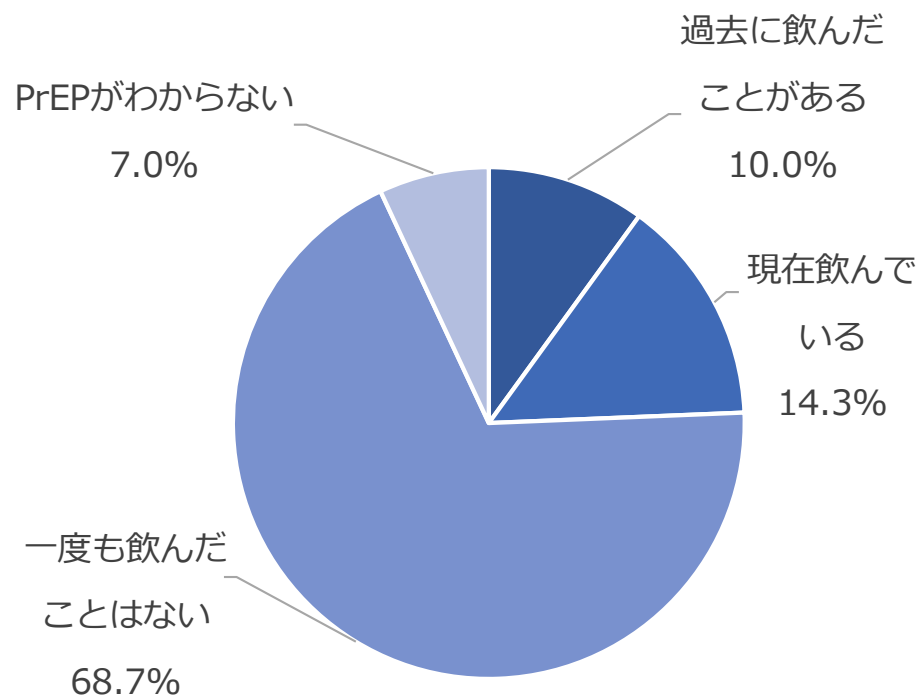
Q13 過去6か月間のアナルセックス時のコンドーム使用状況
(アナルセックス経験者のみ対象)
(n=394)



新宿二丁目での定期実施調査では、PrEPを「現在飲んでいる」者は14.3%から27.7%に増えた。

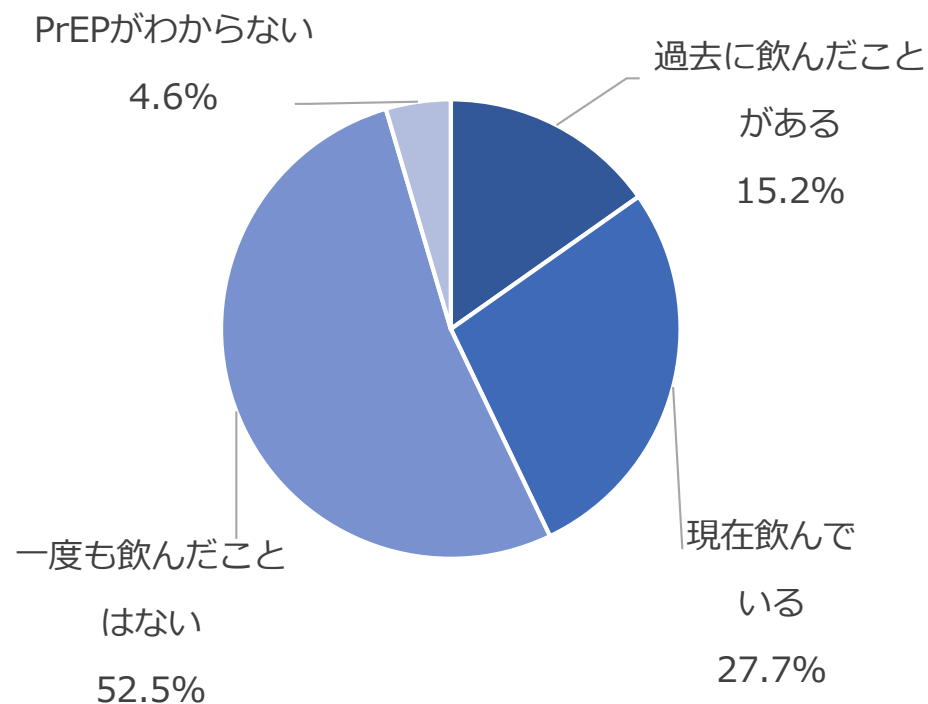
2023年7月

Q17. PrEP（HIV曝露前予防）の服薬経験
(男性とのセックス経験者のみ対象 n=460)



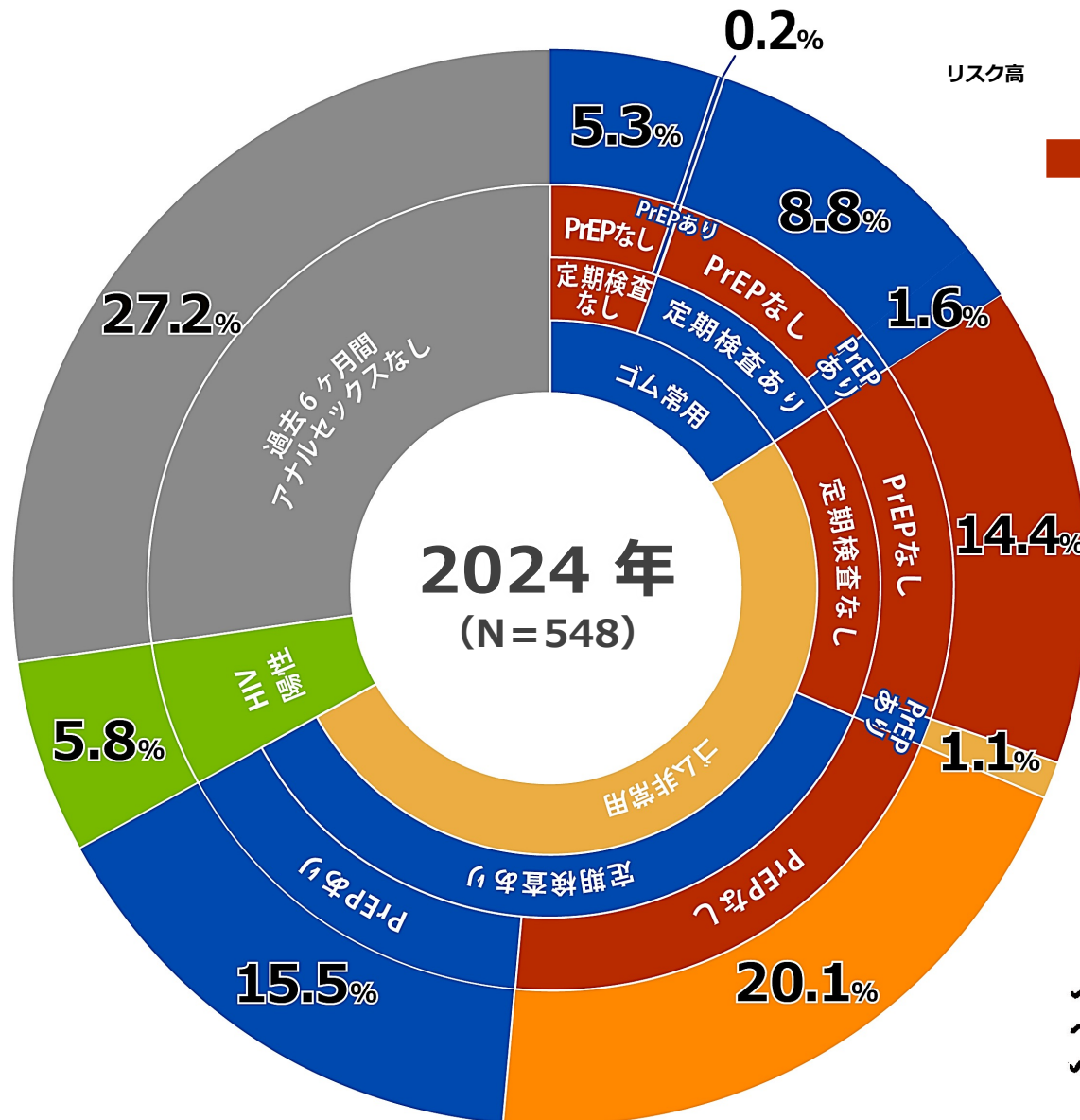
2024年7月

Q17. PrEP（HIV曝露前予防）の服薬経験
(男性とのセックス経験者のみ対象 n=460)



新宿二丁目MSMコミュニティのHIV感染のリスクマップ試案

(HIV検査・性行動・コンドーム使用・PrEP) n = 548



リスク高

リスク低

- 予防方法の多元化
- CBOsは予防の多様なあり方を前提にヘルスコミュニケーションを行う必要性

「コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発方法に関する研究」



— 2024年度のまとめ —

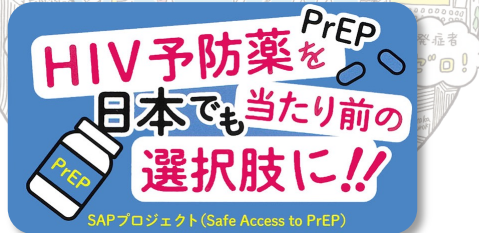
3つのゼロ（新規感染のゼロ・エイズ発症のゼロ・差別偏見のゼロ）
達成に向けて取り組んだプログラム。



新規感染のゼロ

PrEP環境改善に向けた
署名活動の取り組み

SIGNATURE
6542人達成



エイズ発症のゼロ

ヤローページの発行

DELIVER
8000部配布



デジタルディスペンサーを
用いた郵送検査キットの販売

HIVcheck.jp

TEST
2100キット販売

差別偏見のゼロ

Living Together
のど自慢ファイナル

NADO
3500人以上参加



日本エイズ学会の実施

CONFERENCE
1700人以上参加



KEEP
1.0倍



UP
1.1倍

akta
community center

第2部

特別トークショー
16:30~18:00

セクシュアルヘルスと

Sexual Health & Influencer Marketing

インフルエンサー マーケティング

登壇者

良太郎氏
ゲイマッサージ師
旧東海道歩き / 和太鼓

金子典代氏
名古屋市立大学

柴田 恵氏
コミュニティセンター akta

性感染症の予防は
“複合予防”の
時代へ

PrEP,
U=U,
Doxy-PEP

